

備前市 事務事業評価表

事務事業名	猟政事業	コード	04-01-01-18
		担当課・係	農林水産課・管理係
事業実施期間	担当者 大道 健一		
	電話 0869-64-1831		
総合計画事業（政策）体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり	
	中項目(基本施策)	豊かな食を支えるまちづくり	
	小項目(施策)	農業	

事業について	
目的（何のために）	鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律に基づき、鳥獣による農林水産物及び人畜に被害のある場合は駆除する。
対象（誰・何を対象に）	備前市内で農作物等を作っている人及びすべての人
内容	農作物及び人畜に被害を与える鳥獣等がでた場合、市内狩猟登録者で組織する有害鳥獣駆除班に依頼し、駆除する。

事業の結果								
実施項目	17年度		18年度					
	回数など	(単位)	回数など (単位)					
鳥獣捕獲許可交付数	487		488					
鳥獣飼養許可交付数	2		2					
事業費 (単位：千円)	事業費	財源	事業費	財源	事業費	財源		
	直接事業費	2,061	国庫補助金等	311	直接事業費	2,398	国庫補助金等	370
	人件費	3,519	受益者負担	6	人件費	3,754	受益者負担	7
	合計	5,580	一般財源等	5,263	合計	6,152	一般財源等	5,775
	市債				市債			
	合計	5,580	一般財源等	5,263	合計	6,152	一般財源等	5,775
	合計	0	一般財源等	0	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.44	人	0.47	人
結果指標名	鳥獣捕獲許可件数		鳥獣捕獲許可件数	
結果指標量	3,141		3,261	
単位	頭		頭・羽	
対前年比	—		103.82%	0.00%
活動にかかるコスト	7,191,000	円	6,152,000	円
単位当たりコスト	2,289	円	1,886	円
結果指標名	鳥獣捕獲数		鳥獣捕獲数	
結果指標量	897		832	
単位	頭		頭・羽	
対前年比	—		92.75%	0.00%
活動にかかるコスト	7,191,000	円	6,152,000	円
単位当たりコスト	8,017	円	7,394	円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	捕獲数が成果と考える。		
成果指標名	依頼に対する捕獲達成率	式又は説明	鳥獣捕獲数 / 鳥獣捕獲許可件数 * 100
	17年度	18年度	
成果指標量	29		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	35	到達目標年度	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行ってください。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行ってください。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行ってください。

(平成18年度事業)

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	C
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等： 鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律	課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	農作物の被害が市内全域であり、要望件数が増えているため、必要な事業である。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価<A~E>
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	課題認識
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	年により被害にばらつきがあり、鳥獣捕獲許可件数、鳥獣捕獲数が大きく変化する。
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価<A~E>	
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	課題認識	
有効性の評価	市民参画度		鳥獣の捕獲と駆除の両面から考えないといけないので、目標値を100にすることはできない。駆除することで農作物の被害が減少すれば目標を達成したと考える。

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明
目標値	結果指標量		結果指標量

総合評価	年度により有害鳥獣の捕獲率にばらつきがあるが、野生動物が対象になるのでやむを得ない部分もある。農作物・人の被害が少しでも減少し、駆除依頼件数が減少すればよいと判断する。	評価区分<A~E>	C
------	--	-----------	---

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	---	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果